

「共用デイ」というサービスを利用して

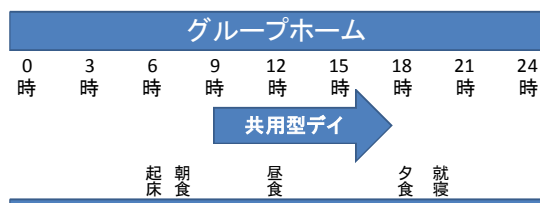


ケアカフェぷらっと 岡田 久美子

認知症対応型通所介護には、単独型（単独）、併設型（特養併設）、共用型の3つがあります。共用型デイサービス（以下、共用デイ）は、グループホームにおけるサービスになります。

共用デイでは、通所利用者が朝から夕方までの時間を、グループホームのリビングで入所の利用者の方々と一緒に過ごすというサービスです。1ユニットに3人までとなっています。「そんなサービスあるの？」という声が聞こえてきそうです。姫路市では、グループホーム花みずきが最初に始め、現在は姫路で2ヶ所のグループホームがやっているそうです。

1日の日課



左図は、グループホームの1日の流れです。グループホームが24時間対応であるのに対して、共用デイの時間帯は、朝食後の9時頃から夕食前の18時頃迄で、一日の内最大9時間です。グループホームに日中のみ通ってくるということです。

特徴は、利用料が安価であることと、グループホームのデイサービスなので、認知症の症状により対応が難しい方も穏やかに過ごして頂けるようサービスを提供できるところにあると思います。

右図は、通所介護と共用デイの介護保険上の単位数を比較してみました。1番の特徴は、1日の単位数が共用デイは、安価であるということです。介護1から介護5でも500単位台であり、介護度が1つ上がる毎に通所介護なら約120単位上がるのに対して、共用デイはわずか18単位です。

介護4、5では、利用料が半分にになります。

通所介護と共用デイの単位数の比較

・ 通所介護

介護度	7～9H
介護1	656
介護2	775
介護3	898
介護4	1021
介護5	1144

・ 共用デイ

介護度	7～9H
介護1	506
介護2	524
介護3	542
介護4	560
介護5	579

介護度別共用デイの利用可能日数

介護度	7~9H
介護1	30日
介護2	34日
介護3	45日
介護4	50日
介護5	58日

介護度別の限度額を前述した共用デイの単位数で割って、利用可能日数を表にしてみました。かなり有効に利用できることがおわかりになると思います。

デイの利用料が安価の部分は、そこばかりを見ると人気が集中してしまいそうで困ってしまいますが、今は知名度が低いサービスの為か(?)申し込み者は少ない状況です。

グループホーム花みずきが、なぜこのサービスを始めようと思ったかについて、尋ねたことがあります。利用者さんのご家族が、介護に疲れ、へとへとになってグループホームにたどり着いたというケースの中で、ひどい時には、介護者が追い込まれて、仕事までやめた例があるとの事です。同様に職員の間でも介護を必要とする親や兄弟を抱え、離職や介護疲れに悩む現状があります。また入所申込をされても、すぐに入所できることが少なく、困られている状況が長くなり、サ高住(サービス付き高齢者向け住宅)や有料老人ホームに入所されることがあります。

そんな苦しさや隣り合わせにいて、何とか共用デイというサービスを可能にしていきたいと思われたわけです。

昨年5月から利用者さんに共用デイを取り入れてプランを作成しました。

(事例1) Aさん男性 82歳 奥さんを病気で亡くし、娘さんは、管理職として仕事を持ちながら、介護をしていました。尿失禁が多く(家の洗濯物と一緒に洗ったりすると匂いが移ります)、娘さんが夜遅くに毎晩コインランドリーに洗濯に行くという生活でした。娘さんにも持病があり、お仕事からの帰宅は遅く、何とかこの状況をうまく切り抜けることが出来ないかと思っていました。共用デイを利用し始めてからは、生活の中で洗濯物をすぐに洗って、干したり、たたんだりを利用者さん自身が出来るようになって、娘さんのコインランドリー通いが無くなり、介護疲れを取り除くことが出来ました。

(事例2) Bさん女性 85歳 夫が亡くなり、喪失感より認知症が出現した方です。日中、家族は働いていて、ひとりぼっちで家にいることに不満があり、家族には「仕事を休んでほしい」と仰っていました。それはできないと家族が困られていたため、共用デイを利用していただきました。体調が悪いと言って休むことが多く、共用デイ自体の利用はあまりうまくいっていなかったかもしれませんが、次第にグループホームに慣れ、通って来られた日は、利用者同士で仲良くされていました。

3ヶ月後に当グループホームに空きが出来、入所されました。

認知症の周辺症状は、どのようにしたらなくせるのでしょうか？周辺症状とは、記憶障害や判断力の障害・問題解決能力の障害・実行機能障害・失行・失認・失語などの中核症状から、二次的に精神症状や行動上の障害として妄想や徘徊・暴力・暴言などの症状をいいます。中核症状から周辺症状に至る場合、人や場所・物などを覚えられず、混乱で起こることが多いため、少しでも元気な間に、職員や他の入所者さんの顔を覚え、なじみの関係が出来ることで、周辺症状が和らぐよう共用デイの利用を考えてみてはどうでしょうか。

ケアマネジャーは本人や家族の困りごとを解決するよう努めています。どこか折り合いがつかないところを求めて、制度上利用できることや社会資源を探しています。共用デイを利用する場合は、認知症状の程度や各家庭事情等を踏まえて、ご本人が大切にしていることを大事にしたいと思っています。

料金の他に、通常のデイサービスとどこが違うの？と尋ねられたことがあります。かつてご本人が過ごされていたような生活のスタイルを、できるだけ継続するサービスだとお伝えしました。そんなイメージです。

9人の枠の狭いサービスですが、この機会に是非知っていただき、これぞと思う方があれば、相談して頂きたいです。

このサービスの選択によって家族の疲弊を回避でき、毎日の生活を大切にす
るグループホームでのケアが、本人や家族を支えていることを実感しています。共用デイを実施しているところはまだまだ少ないのですが、今後多くのグループホームでも行われ、サービスの選択肢の一つになればと思っています。



共用型デイサービスを利用しませんか

共用デイサービスとは、既に稼働中のグループホームの共用部分を使用して行われるデイサービスです。



1日の利用定員数は1ユニット3名

(花みずきは3ユニットなので9名)です。

また、一般のデイサービスとは違い、グループホームの同じ空間で、1日を過ごします。土日祝日も利用できます。

料金は、単独型認知症通所介護のほぼ半額（通所介護のほぼ2/3）。

送迎・入浴・食事・レクリエーションや行事・散歩などで一日を過ごしていただきます。

《実例》

①要介護1 利用時間 10:00～15:15 毎回送迎、入浴 11日間利用
介護保険負担分 6,039円＋介護保険外 4,565円＝10,604円

②要介護1 利用時間 9:00～17:00 毎回送迎、入浴 28日間利用
介護保険負担分 17,480円＋介護保険外 12,180円＝29,660円

グループホームは、普段から認知症の利用者さん方と認知症対応を学んだ職員とで、認知症の症状やその人の個性に沿った生活が営まれています。その同じ場で、認知症のある方にとって安心して少しでも穏やかに過ごして頂けることと思います。宜しくお願い致します。

電話番号：079-264-8855（FAX：079-264-8844）

〒679-2123

姫路市豊富町豊富915-2

グループホーム花みずき

共用型認知症対応デイサービス

施設長 喜多 桂子

